

# 耐震状況リストの見方

## ■ (施設区分)

施設番号	施設名称		所在地	構造	延床面積 (㎡)	地上階数	地下階数	建築年	耐震基準	耐震診断の結果 Is値	耐震改修の実施	耐震性の判定	耐震診断, 改修等の予定	特定建築物等災害時の拠点避難所の分類	所管部	所管課
	棟名称															
1	〇〇	北棟	〇〇	RC	1,931	3	0	S47	旧	未	未	未	検討中	特・指	〇〇部	〇〇課
		南棟		RC	642	3	0	S51	旧	未	未	未	H〇〇年診断			
		東棟		S	686	2	0	S48	旧	0.5	未	×	検討中			
2	□□		□□	W	356	1	0	S47	旧	0.5	未	×	H〇〇年改修	その他	□□部	□□課
3	△△		△△	CB	250	1	0	S51	旧	0.2	済	○		その他	□□部	□□課
4	◎◎		◎◎	RC	1,356	1	0	S48	旧	0.9		○		その他	□□部	□□課
5	■ ■		■ ■	S	665	2	0	S57	新			○		その他	□□部	□□課
6	◆ ◆		◆ ◆	RC	3,562	4	1	S48	旧	*		○		特・その他	□□部	□□課

棟名称	構造	建築年	耐震基準	耐震診断の結果 Is値	耐震改修の実施	耐震性の判定	耐震診断, 改修等の予定	特定建築物等指定避難所 その他の分類
一の建築物であっても構造上分離されている場合は、その部分毎に棟名称をつけて記載しています。(その部分毎に耐震診断を行うため)ただし、平成20年3月以降に建築されたものは構造上分離していません。	RC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造 W:木造 CB:コンクリートブロック造 SRC:鉄骨鉄筋コンクリート造	工事に着手した年を記載しています。ただし、平成20年3月以降に建築されたものは完成年で記載しています。	昭和56年6月1日の建築基準法の構造基準改正により分類しています。  旧:昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築されたもの  新:昭和56年6月1日以降の新耐震基準で建築されたもので、耐震性有と判断します。	Is値とは、耐震診断により算出される数値で、0.6以上(木造は1.0以上、一次診断は0.8以上)で耐震性有りと判断します。Is値が基準値未満のものは耐震改修を行う必要があります。 *印はIs値によらない診断方法で判定されたものです。 実施していない場合は「未」と記載しています。	未:未実施 済:実施済	○:耐震性有 ×:耐震改修が必要 未:耐震診断を行っていないため未確定	耐震診断, 耐震改修などの予定が決定したものは予定年度を記載しています。 学校, 幼稚園について耐震診断の予定が記載されているものは、建築年や老朽化の度合いなどから判断する「優先度調査」に基づき順位を決定しています。  検討中と記載しているものは、耐震診断又は耐震改修の時期が決定次第公表します。	特:耐震改修促進法に基づく一定規模以上の特定建築物等  指:つくば市地域防災計画で位置づけられた指定避難所  その他:つくば市地域防災計画(平成31年1月改定)で位置づけられた災害時の活動拠点予定施設(改定前の計画における災害時の活動拠点及び避難所を含む)